



市政記者クラブ加盟社 各位

感染性胃腸炎の集団発生について (一部訂正)

次の施設において、「感染性胃腸炎」の集団発生事例（1件）がありましたのでお知らせします。

1 盛岡市内の教育・保育施設（利用者・職員 200名以上）

(1) 患者の状況等

- ア 3月28日（木）に施設から、複数の利用者が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の報告。
- イ 保健所が調査を実施し、3月21日（木）から4月2日（火）までに19名（利用者19名）に下痢・嘔吐痛等の症状があったことを確認。
- ウ 有症者は回復または回復傾向。

(2) 原因究明の調査等

- ア 保健所において感染経路等を調査したところ、排泄処理の手洗い不十分、環境消毒に一部不十分な点があったと推察されたことから、施設に対し、手洗い及び環境消毒の徹底等二次感染予防対策について指導。
- イ 給食を原因とする食中毒の可能性は低いと判断。

2 保健所からのお願い

盛岡市内における感染性胃腸炎の定点医療機関当たりの報告数は、2024年第13週（3月25日から3月31日まで）に10.14人となり、前週（10.29人）より減少しています。社会福祉施設はもちろん、各家庭においても、調理や食事の前、トイレやオムツ交換の後の手洗い等を心がけ、感染予防に引き続き注意しましょう。

(1) 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎とは、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状を主とする感染症です。

原因としては、細菌性のものとウイルス性のものがあり、ウイルス性のもののうち、ノロウイルス及びロタウイルスが多く、毎年秋から冬にかけて流行します。

(2) 予防方法

- ・ トイレやオムツ交換の後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
- ・ 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業を自粛する。
- ・ 調理する場合、加熱が必要な食品は85～90度・90秒以上で十分加熱する。
- ・ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクや使い捨て手袋を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した器具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ・ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

(3) 感染性胃腸炎の集団発生状況

区分	盛 岡 市				岩 手 県 (盛岡市含む。)			
	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウウイルス等)	計	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウウイルス等)	計
令和6年4月 ～現在	0	0	1	1	0	0	1	1
昨年同期 (令和5年度)	1	0	0	1	1	0	0	1